

学位論文の要旨

三 重 大 学

所 属	三重大学大学院医学系研究科 乙 生命医科学専攻 神経感覚医学講座 精神神経科学分野	氏 名	棚橋 俊介 <small>たなはし しゅんすけ</small>
<p>主論文の題名</p> <p>Association of Serotonin Transporter Gene (5-HTTLPR/rs25531) Polymorphism with Comorbidities of Panic Disorder</p> <p>主論文の要旨</p> <p>序論：パニック症は、うつ病、双極性障害、広場恐怖症のような多くの精神疾患を併存する。パニック症における遺伝的負因を含めたその病因は十分に理解されていない。最近、serotonin transporter gene-linked polymorphic region (5-HTTLPR) の三対立遺伝子多型 (5-HTTLPR / rs25531 多型：S 型, La 型, Lg 型による遺伝子多型) で検討することにより、既存の二対立遺伝子多型 (S 型, L 型) に比して、多型間の性格特性の差異をより鋭敏に検出できるとする報告がなされた。本研究では 5-HTTLPR / rs25531 多型がパニック症における併存症の有無において疾患に関連する不安状態に影響するという仮説を立てた。</p> <p>方法：本研究は、パニック症における併存症の有無と 5-HTTLPR / rs25531 多型の関連性を調べた。合計 515 人のパニック症患者 (男性 148 人、女性 367 人) の遺伝子型を特定し、NEO-PI-R 人格検査と不安関連の心理検査が実施された。パニック症の併存症として、うつ病、双極性障害、広場恐怖症を診断した。</p> <p>結果：うつ病の併存有無と三対立遺伝子多型についての検討では、NEO-PI-R 人格検査の開放性に有意な交互作用を認めた。また、広場恐怖症の併存の有無と三対立遺伝子多型についての検討を行ったところ、広場恐怖症の併存が無い場合において、L' allele carriers 群が S'S' genotype 群よりも高い特性不安と関連していることが明らかとなった。</p> <p>結論：いくつかの不安特性と性格特性は、5-HTTLPR の三対立遺伝子効果によって特徴付けられた。本研究の結果は、5-HTTLPR の三対立遺伝子多型が、パニック症における併存症の有無に関して、遺伝的な効果を有することを示唆する。</p>			